

2019年度 社会連携研究プロジェクト活動報告書

2020年 4月 20日

和光大学地域連携研究センター
センター長 小林 猛久 殿

代表者氏名 バンバン・ルディアント

研究プロジェクトの名称							
ロンボク島における持続可能な防災教育の実施							
研究目的							
<p>本プロジェクトでは日本の防災の知識、例えば学校で教えられた「稲村の火」や避難訓練などを教員と学生が研究し、インドネシアの被災地に適応可能な範囲で伝達する。伝達の手法は小学校の中のExtra Curricularの授業中に防災教育を教える。防災教育の内容は紙芝居などを活用し、避難訓練を練習する。対象としたコミュニティはロンボク島の2つ地区の小学校である。現地のプロジェクト実施には和光大学と現地の防災教育専門家と一緒に連携を実施する。</p>							
プロジェクト所属メンバー (氏名の右の欄に、本学専任教員=教、共同研究員=共と記入してください。)							
BAMBANG RUDYANTO (バンバン ルディアント)	教	加藤巖 (かとういわお)	教	鈴木岩行 (すずきいわゆき)	教	高藤洋子 (たかふじょうこ)	共

研究活動の経過 (800字以内) (打ち合わせ、報告、招待講演、調査旅行などの月日、テーマ、報告者、目的地などを記入してください。)

- 2019年4月19日 キックオフ・ミーティング(鈴木先生、加藤先生、バンバン)
- 2019年8月15日 ジャワ島のマラン県の高校で和光の学生たちは日本の防災教育について発表した。
- 2019年8月21日 バリ島のウダヤナ大学で和光の学生たちは日本の防災教育について発表した(左写真)。
- 2019年8月26日 ジャカルタで打合せした。(バンバン、高藤氏、専門家:アグス・ヌルサラム氏)
- 2019年10月4日～6日 ロンボク島の3つの小学校で防災教育を実施した。(高藤、アグス・ヌルサラム氏) (右写真)



研究成果の概要（1200字程度）（どのような方法で調査、研究を行ない、どのような新知見が得られたか。またそれを今後どのように活かすことができるか、など）

当該プロジェクトの対象とするコミュニティはロンボク島の2つの地区の小学校である。対象小学校と参加延べ人数は以下のとおりである。

- ・ロンボク島Ampenan Jempong Baru 地区 第45小学校180人
- ・ロンボク島Ampenan Mataram地区 第35小学校120人

その他、下記のノンフォーマル教育機関においても実施した。

- ・ロンボク島 北ロンボクMentigi地区
Green School by NGO Lombok Eco International Connection 30人

当該プロジェクトはこれまでに展開してきたプロジェクトをさらに発展させ実施地の範囲を広げることによりこれまで以上にインドネシア各地域と当大学との連携の裾野を広げることができた。また学校を中心として展開したことにより、児童・生徒から父兄へそしてコミュニティへ、防災や日本およびインドネシアの文化の相互理解も促進することができた。学校や地域コミュニティと協働で、地域の文化を融合した防災のための教材（具体的には紙芝居と伝統音楽のコラボレーションした教材）を用いて防災セミナーや交流会を開催することにより、新しい文化の担い手を育成することにもつながった。当教材は防災のみならず、同様にインドネシアに於ける日本語教育の教材としての役割を担った。

これまでに続き本助成プロジェクトを継続実施したことにより、前年度に形成された両国間の防災面でのネットワークに新しい地域でのネットワークが加わった。ネットワークの層が広がることによって文化と防災を軸とした交流基盤や地域連携力もさらに固めることができ社会連携構築の促進に寄与した。特に多民族国家であるインドネシアに於いてはインドネシア国内各地における本事業の展開によって地域間の理解と認識を深めることにつながった。また、日本・インドネシア両国の文化の特性を活かした交流を行うことによって、言語などの相違を超え心と心のふれあいを大切にしながら豊かな交流ができた。さらに国際交流を通して万国共通の課題である「防災」について考えたことは意義深い。

今後も当該プロジェクトをフォローアップし持続していくことでますますネットワークの輪が広がり、さらに交流が定着し基盤の固いプラットフォームが構築されることが期待できる。これまでのプロジェクトで培ったネットワークを活かし、地域住民と当大学との間に生まれた友好的な理解と信頼関係をさらに蓄積していきたい。

成果の発表文献（標題、著者名、雑誌名、巻号頁、発行年等）

（発行年は厳密に2019年4月～2020年3月に刊行されたものだけに限らず若干前後のものも含めてください）

- 2020年 第57回日本地域学会で発表予定（Covid-19で中止の可能性があり）

※ 用紙が足りない場合は別紙を添付してください。

※ できるだけこのデータに入力いただき、Eメールでご提出ください。

※ 提出期限：2020年4月30日（木） 提出先=企画室企画係(岡本) kikaku@wako.ac.jp(企画係)